



平成 26 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 日 本 基 礎 技 術 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 原 巖
(コード番号 1914 東証 第 1 部)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 事 務 管 理 本 部 長 田 中 邦 彦
(TEL 03 - 3476 - 5701)

通期業績予想と実績との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

平成 25 年 11 月 13 日に公表しました平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の通期業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせします。

また、特別損失を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	18,500	△165	△33	△165	△5.77
今回実績 (B)	20,563	134	569	81	2.86
増減額 (B－A)	2,063	299	602	246	—
増減率 (%)	11.2%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	17,106	△376	133	13	0.47

平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A)	17,500	225	117	4.09
今回実績 (B)	19,368	889	△80	△2.82
増減額 (B－A)	1,868	664	△197	—
増減率 (%)	10.7%	295.1%	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	15,676	571	△297	△10.40

(連結業績)

主に、個別業績の差異理由により、営業利益、経常利益が増加しました。

また、当期純利益は、連結子会社において固定資産の減損損失を計上したことにより少額の増加となりました。

(個別業績)

売上高につきましては、受注の増加に伴い完成工事高が増加し、合わせて、経常利益が増加しました。

また、当期純利益につきましては、連結子会社に対する関係会社株式評価損および貸倒引当金繰入額を計上したこと等により、予想を下回りました。

2. 特別損失の計上について

(連結業績)

連結子会社において減損処理による固定資産の減損損失 119 百万円を特別損失に計上しました。

(個別業績)

連結子会社に係る関係会社株式において、実質価格が著しく下落したことにより、関係会社株式評価損 500 百万円を計上し、また、債権の回収可能性に疑義が生じたため、貸倒引当金繰入額 106 百万円を計上しました。

これらは、個別財務諸表上において特別損失として計上しますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

以 上